

〔症例〕 重度の疾患増悪関連

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用															
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置															
1	女 40代	多発性硬化症 (なし)	0.5mg 615日間	<p>多発性硬化症再発</p> <p>投与前 右手の使いにくさ, 下肢深部覚低下。 症状: 感覚器系あり MRI: 側脳室周囲白質, 頸髄, 胸髄に多発病変。大脳病巣: あり, 小脳病巣: なし, 脳幹病巣: なし, 視神経病巣: なし, 脊髄病巣: あり</p> <p>投与開始日 投与開始 投与615日目 進行性多巣性白質脳症 (PML) の不安等にて本剤中止。 (投与中止日)</p> <p>中止28日後 脳MRI所見は落ち着いていた。 中止36日後 フマル酸ジメチル投与開始。 中止91日後 MRI: 多巣性腫瘤様髄病変及び再発病巣多数確認。大脳病巣: あり, 小脳病巣: なし, 脳幹病巣: なし, 視神経病巣: なし, 脊髄病巣: あり 症状: 不全麻痺/完全麻痺, しびれ感 ステロイドパルス療法施行。</p> <p>中止119日後 脳MRIで増強された新規病変を認めた。 中止173日後 MRIにて増強された新規病変及び再発病巣多数確認しステロイドパルス療法施行。</p> <p>中止301日後 MRIにて再発病巣多数確認しステロイドパルス療法施行。 中止419日後 MRIにて再発病巣多数確認しステロイドパルス療法施行。 中止465日後 免疫吸着×7施行 ~中止525日後 中止525日後 最終診断: 多発性硬化症再発。 多発性硬化症再発未回復。</p>															
臨床検査値																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>投与開始前</th> <th>投与中止日</th> <th>中止28日後</th> <th>副作用発現後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EDSS</td> <td>1.5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>リンパ球数 (/<math>\mu</math>L)</td> <td>-</td> <td>479</td> <td>1191</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>						投与開始前	投与中止日	中止28日後	副作用発現後	EDSS	1.5	-	-	1.5	リンパ球数 (/ $\mu$ L)	-	479	1191	-
	投与開始前	投与中止日	中止28日後	副作用発現後															
EDSS	1.5	-	-	1.5															
リンパ球数 (/ $\mu$ L)	-	479	1191	-															
併用被疑薬: フマル酸ジメチル 併用薬: ウラピジル, プレガバリン, ファモチジン, フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム, ポリカルボフィルカルシウム, 酪酸菌製剤																			